

自己推薦 AO 入学試験

第一次出願期間（振込期限／消印有効） 9月15日（火）～9月24日（木）	第二次出願期間（第一次選考通過者のみ） 10月21日（水）～10月28日（水）	合格発表日 12月4日（金）
第一次選考（書類審査）結果通知 10月下旬 詳細は入学試験要項をご確認ください。	第二次選考試験日／試験場 11月15日（日） 白金キャンパス	手続締切日（振込期限／消印有効） 12月11日（金）

共通出願資格 次のすべてを満たすもの	<p>(1) 文部科学省が定める大学入学資格のいずれかを有する者、または2027年3月31日（9月入学の場合は2027年8月31日）までに有する見込みの者（大学入学資格の詳細は文部科学省のWebサイトを確認ください）</p> <p>(2) 出願する学科を第一志望とし、入学を確約できる者</p>
------------------------------	---

学部	学科	募集人員	出願資格	出願書類	第二次選考試験科目
文	英文	約20	<p>● 英文学科が伝統として重んじてきた英語のみならず、一般的な学力を備えた個性豊かな人材の育成を目的とします。受験生のそのような資質・能力を多角的に評価し、選考を行います。</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者（P.158 上部参照） 2. 以下の項目のうち、いずれか一つを満たす者*1 (1) 実用英語技能検定（英検）1級・準1級・2級合格または合否を問わずCSEスコア1980点以上（2級以上の試験に限る） (2) TOEFL iBT® Test Dateスコア42点以上（44点以上またはバンドスコア3以上） (3) GTEC（4技能合計スコア）930点以上 (4) TEAP（4技能合計スコア）225点以上もしくは、TEAP CBT（4技能合計スコア）420点以上 3. 全体の評定平均値が3.5以上の者*2</p>	<p>① 調査書*3 ② 出願資格2.を証明しうる書類（詳細は入学試験要項を参照） ③ 自己推薦文（本学所定用紙／800字程度） ④ 海外高等学校卒業（見込）者調査票（本学所定用紙／海外の高校出身者のみ）</p>	<p>① 小論文（60分）（英語によるエッセイ／300～500語程度） ② 面接</p>
	フランス文A	約10	<p>● フランス語の習得の意志を持つと同時に、言語、文学、歴史、芸術、思想のいずれか一つないし複数の分野に強い関心を抱き、意欲を持ってフランス文学科で学ぼうとする者を求めます。</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者（P.158 上部参照） 2. 言語、文学、歴史、芸術、思想のいずれか一つないし複数の分野に強い関心を抱く者</p>	<p>① 調査書*3 ② 志望理由書（本学所定用紙／1000字程度）本学科を志望する理由と、フランスおよびフランス語圏文学・文化についてあなたが興味を持っていることを書くこと。大学等が企画するフランス語関連のコンクールに参加したことがある人は明記すること。 ③ 海外高等学校卒業（見込）者調査票（本学所定用紙／海外の高校出身者のみ）</p>	<p>① 英語またはフランス語*（60分） ② 面接</p> <p>*フランス語の出題は、初級文法修了程度を前提とする</p>
	フランス文B 〔フランス語既習者〕	約5	<p>● すでにフランス語の基礎を習得し、これからもフランス語の学習をつづける意志を持つと同時に、言語、文学、歴史、芸術、思想のいずれか一つないし複数の分野に強い関心を抱き、意欲を持ってフランス文学科で学ぼうとする者を求めます。</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者（P.158 上部参照） 2. 高等学校または中等教育学校（後期課程）在学中にフランス語を履修し、フランス語の評定平均値が3.0以上の者*2 ● フランス語は、必修・選択、第一外国語・第二外国語、履修年次・年数を問わない 3. 言語、文学、歴史、芸術、思想のいずれか一つないし複数の分野に強い関心を抱く者</p>	<p>① フランス語*（60分） ② 面接</p> <p>*フランス語の出題は、初級文法修了程度を前提とする</p>	
芸術	約30	<p>● 芸術学科では、 1. 内外の諸芸術に対し、実際の活動や見聞を通じて生き生きとした関心を持ち、 2. 在学中にその知識や理解をさらに発展させ深める努力をし、 3. それを活かして芸術について広く発信し、あるいは仲介する意欲を持つ者を求めます。</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者（P.158 上部参照） 2. 高等学校（中等教育学校においては後期課程）在籍中に都道府県レベル以上の大会やコンクール、コンテスト、競技会（これに準じるレベルの公演なども含む）などにおいて、個人もしくはチームとして入賞以上の成績をあげたことのある者、表彰など明確な形で顕彰されたことがある者、もしくは各分野の活動実績を明示的に証明できる者。ただし同人誌、あるいは商業誌における読者コーナー、新聞等の投書欄のたぐいは不可。</p> <p>● 出願の対象となる分野については「芸術」の範囲を極力広く解釈する。例えば以下のようなものが含まれる。美術、音楽、映像、演劇はもとより、ダンス、バレエ、ミュージカルといった身体パフォーマンスや放送、新聞製作、文芸、書道、茶道、華道、まんが、写真など。また、チャリティー、フィギュアスケートなど芸術性が評価に含まれるスポーツなども該当する。 ● 実績については、出願資格および入試における審査対象となる。また、実績が必ずしも大学入学後にチャレンジしたい目標や所属したいコースに直結しなければならないわけではないが、志望動機はその活動の経験をふまえたものとして明確に示されることが必須である。 ● 選考にあたっては、独自性、実績、意欲などに重点をおく。</p>	<p>① 調査書*3 ② 出願資格2.を証明しうる書類（団体での受賞の場合は、個人名が明記されているものを提出すること） ③ 志望理由書（本学所定用紙／1000字程度） ④ 海外高等学校卒業（見込）者調査票（本学所定用紙／海外の高校出身者のみ）</p>	<p>① 小論文（60分） ② 面接</p>	

※1 英語外部検定試験は、出願締切日より2年以内に受験した試験結果のみ有効であり、TOEIC®を除いて異なる試験日、試験回のスコアの合算は認めません。
なお、TOEIC®はL&RのスコアにS&Wのスコアを2.5倍して合算したスコアとします。また、実用英語技能検定（英検）はS-CBT・S-Interviewも可とし、CSEスコアに関しては、スコアが基準を満たしていれば合否は問いません。ただし、2級以上の試験に限ります。GTECは検定版のほかCBTタイプも可とします。TOEFL iBT®はHome Editionは不可とします。
また、2026年1月21日以降に受験した場合は（ ）内のスコアとします。IELTSはOne Skill Retakeの利用は不可です。
※2 評定平均値の記載された調査書を提出できない場合は、出願資格の評定平均値相当の学力を有しているかの確認を第一次選考に先駆けて行います。
詳細は入学試験要項をご覧ください。
※3 調査書が発行されない場合は卒業証明書および成績証明書を提出してください。詳細は入学試験要項をご覧ください。

■2027年度入学試験要項は7月頃に本学Webサイトに公開予定です。
下記の内容から変更が生じる可能性がありますので、出願にあたっては入学試験要項を必ず確認してください。

学部	学科	募集人員	出願資格	出願書類	第二次選考試験科目
経済	国際経営	約5	<p>● 国際的に活躍できるグローバル・マネジャーの育成という国際経営学科の理念に合う以下の人材を求めます。 1. ビジネスの分野で国際的に活躍したいという強い意欲を有していること 2. 企業の経済活動・経済事象に強い関心を有していること 3. さまざまな経済現象に対して自分なりの意見を持ち、明確に表現できること</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者（P.158 上部参照） 2. 以下の項目のうち、いずれか一つを満たす者*1 (1) 実用英語技能検定（英検）2級以上合格または合否を問わずCSEスコア1980点以上（2級以上の試験に限る） (2) TOEFL iBT® Test Dateスコア42点以上（44点以上またはバンドスコア3以上） (3) TOEIC®（L&R+S&W）1150点以上 (4) GTEC（4技能合計スコア）930点以上 (5) TEAP（4技能合計スコア）225点以上 (6) 英語の評定平均値が4.2以上 3. 全体の評定平均値が3.5以上の者*2</p>	<p>① 調査書*3 ② 出願資格2.を証明しうる書類（詳細は入学試験要項を参照） ③ 志望理由書（本学所定用紙／500字以内） ④ 海外高等学校卒業（見込）者調査票（本学所定用紙／海外の高校出身者のみ）</p>	<p>① 英語（60分） ② 面接</p>

社会	社会	約10	<p>● 高校時代までに、勉強だけでなく他領域の活動（芸術・スポーツ・社会的活動など）においても優れた成果を挙げてきた人、そしてこれまでの努力の中で培ったものを今後の学業や諸活動に活かしていこうという強い意志を持った人を待望しています。</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者（P.158 上部参照） 2. 以下の項目において、いずれか一つ以上を満たす者 (1) 文学については、高校時代に新人文学賞の受賞経験ないし入賞経験を有する、もしくは自作の小説、評論、詩などが文学雑誌に掲載された経験や有する者。ただし、同人誌、あるいは商業誌における読者コーナー、新聞等の投書欄のたぐいは不可 (2) スポーツについては、高校時代に個人として都道府県大会においてベスト4以上の実績を有する者。団体の場合は、レギュラー選手として全国大会への出場経験があるか、都道府県大会において、ベスト4以上の実績がある者。あるいは海外の大会において優れた成績を残した者 (3) 文学以外の文化活動については、高校時代に全国レベルのコンクールにおける入賞経験があるか、公募制の新人賞における受賞経験ないし入賞経験がある者、もしくは各分野における活動実績（雑誌掲載、舞台出演ないし演出、テレビや映画への出演等）を明示的に証明しうる者 (4) 継続的な社会活動については、高校時代にいかなる機関に属してどのような活動に動んだのか、またその場所や期間、活動実績等を明示的に証明しうる者 (5) 出願時点で、日本における中学校・高等学校の教育期間に相当する時期に、海外において2年以上継続して在学した者 (6) 入学時点で、国内の外国人学校に、日本の高等学校または中等教育学校（後期課程）と同等の課程の最終学年を含め3年以上在学した者もしくは在学する見込みの者</p> <p>なお、(3)は音楽、絵画など芸術活動、まんが、書道等、さまざまな分野が考えられるので、ここで明記はできない。</p>	<p>① 調査書*3 ② 出願資格2.を証明しうる書類（団体での受賞の場合は、個人名が明記されているものを提出すること） ③ 自己推薦文（本学所定用紙／1000～2000字程度）〔これまでどのような活動をしてきたか〕および「社会学科で何を勉強したいか」についてははっきり述べる必要がある ④ 海外高等学校卒業（見込）者調査票（本学所定用紙／海外の高校出身者のみ）</p>	<p>① 小論文（60分） ② 面接</p>
	社会福祉	約20	<p>● 広く社会福祉の理論と実践に関心を持ち、自らの力で学ぶことを継続できる者、特に次のいずれか一つまたは二つに該当する者を求めます。 1. 学校生活、地域社会、または海外において、自発的であり、かつ単発でない社会貢献活動（ボランティア活動や地域活動）に優れた実績を持つ人 2. 身近な地域社会や国、世界、特定の社会領域において、広く社会福祉関連領域に関して、こうあるべきだ、こうしたい、というユニークなプランやプロジェクトの案を持つ人</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者（P.158 上部参照） 2. 全体の評定平均値が3.5以上の者*2 3. 以下の項目において、いずれか一つ以上を満たす者（複数選択可） (1) 地域・学校・社会福祉施設・企業等で自発的であり、かつ単発でないボランティア活動、市民活動、社会貢献活動を継続的に（単発でなく、概ね1年以上の期間において）実践してきた実績があり、その場所、期間、活動内容等を明示的に証明しうる者 (2) 生徒会、学校における課外活動・部活動に継続的に（単発でなく、概ね1年以上の期間において）参加し、その場所、期間、活動実績や成果等を明示的に証明しうる者 (3) 海外留学、継続的な国際交流の経験があり、その場所、期間、活動実績や成果等を明示的に証明しうる者 (4) 身近な地域社会や国、世界、特定の社会領域において、広く社会福祉関連領域に関して、こうあるべきだ、こうしたい、というユニークなプランやプロジェクトの案をもち、それを表現、説明できる者</p>	<p>① 調査書*3 ② 出願資格3.を証明しうる書類【出願資格(1)(2)(3)で出願する場合】自由書式（コピー可）、氏名が書かれていないものには余白に氏名を明記・ボランティアの証明を提出できる場合は提出のこと。できない場合、活動の記録を任意で作成して添付することが可能です。その際に、活動した場所、期間、活動内容、もしくは活動実績や成果等を明示すること。公式発行物、賞状、新聞・雑誌、レポート、Webサイト（SNSを除く）等があれば該当箇所をコピーして（できるだけA4サイズに揃えて）添付することが可能です。ただし、返却はできません。電子データ・動画の提出は不可。 【出願資格(4)で出願する場合】A4×2枚以内でプランやプロジェクトを書いたレポート等を提出すること。図表・写真の使用可。 ③ 自己推薦書（本学所定用紙／1600字程度）〔これまでどのような活動をしてきたか〕および「志望理由に関連づけて社会福祉学科で何を学び考えたいか」の2点について明確に説明してください。前者は②の証明書類に関連づけて書き、活動から学んだことや身につけたこと、活動から得た自分の強み等を示してください。 ④ 海外高等学校卒業（見込）者調査票（本学所定用紙／海外の高校出身者のみ）</p>	<p>① 小論文（60分） ② 面接</p>

学部	学科	募集人員	出願資格	出願書類	第二次選考試験科目
	消費情報環境法	約34	<p>●消費情報環境法学科の内容・特徴に合った能力・経験を持つ受験生を求めます。受験生は、消費情報環境法学科の内容・特徴をよく理解した上で、自分のどのような能力・経験が本学科のどの部分に適しているかをアピールしてください。ここでいう能力・経験には、高校時代の成績、持っている資格、留学、課外活動、ボランティア、職業上の経験などを含みます。</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者 (P. 158 上部参照) 2. 全体の評定平均値が3.2以上の者^{*2}</p>	<p>①調査書^{*3} ②志望理由書 (本学所定用紙/1000字以内) ③海外高等学校卒業 (見込)者調査票 (本学所定用紙/海外の高校出身者のみ)</p>	<p>①小論文 (60分) ②英語 (60分) ③面接</p>
	グローバル法	約15	<p>●AO入試においては、様々な分野で活躍する「グローバル人材」の育成という本学科の理念に合う以下の人材を求めます。</p> <p>1.急速にグローバル化する政治・経済・文化状況に関心をもっていること 2.①異文化理解力と②実践的なコミュニケーション能力に裏付けられた③法的な解決能力を身につけた上で、「世界市民」として国境を越えて活躍しようとする高い志をもっていること 3.英語に対する強い関心と潜在的な能力をもつとともに、法的な知識と思考方法に興味をもち、現代社会において生じる様々な問題を法的な観点から解決しようとする意欲をもっていること</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者 (P. 158 上部参照) 2. 以下の項目において、いずれか一つ以上を満たす者 (1) 出願時点で、海外において現地の教育課程に基づく正規教育機関に2学年以上継続して在学し、海外経験豊富な者 (2) 入学時点で、国内の外国人学校に、日本の高等学校または中等教育学校 (後期課程) と同等の課程の最終学年を含め3年以上在学した者、もしくは在学する見込の者 (3) 以下の項目のうち、いずれか一つを満たす者^{*1} a. 実用英語技能検定 (英検) 2級以上合格または合否を問わずCSEスコア1980点以上 (2級以上の試験に限る) b. TOEFL iBT[®] Test Dateスコア42点以上 (44点以上またはバンドスコア3以上) c. TOEIC[®] (L&R+S&W) 1150点以上 d. GTEC (4技能合計スコア) 930点以上 e. TEAP (4技能合計スコア) 225点以上 f. 英語の評定平均値が4.2以上</p>	<p>①調査書^{*3} ②出願資格2.を証明しうる書類 (詳細は入学試験要項を参照) ③志望理由書 (本学所定用紙/1000字以内) ④エントリースシート (本学所定用紙)</p>	<p>①英語 (60分) ②面接</p>
法	政治	約10	<p>●1.「Do for Others (他者への貢献)」という理念を理解し、実践する知性と意欲に満ちた受験生を求めます。単に学校の成績が良いというだけでなく、ボランティア活動の実績や国際経験の豊富な人材を求めます。</p> <p>2.「教養ある政治的市民」の育成という政治学科の教育理念に共感し、在学中も卒業後も品位ある市民社会の一員として、積極的に社会との関わりを志向する人材を求めます。国の内外を問わず、また事の大小を問わず、世の中の動きに対して常に新鮮な問題関心を持って取り組むことができる意欲ある受験生を求めます。</p> <p>3.「教養ある政治的市民」とは、具体的には、「言うべきときに言うべきことを言える人間」であり、さらには「言うべきことが言えない」境遇にある人びとに代わって発言する勇気と、他者の境遇への想像力を持つ人間、ということです。そのような人びとが社会の中心を支えることで、今後の日本社会をより良い方向へと導く希望を共有できる受験生を求めます。</p> <p>上記の政治学科のアドミッションポリシーに賛同し、大学入学後も社会貢献および地域振興の担い手となりうる受験生の入学を希望します。</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者 (P. 158 上部参照) 2. 地域社会または海外において、自発的であり、かつ単発でない社会貢献活動 (ボランティア活動や地域活動、学校の枠をこえた生徒会活動など) に優れた実績を持つ者 3. 全体の評定平均値が3.5以上の者^{*2}</p>	<p>①調査書^{*3} ②志望理由書 (本学所定用紙/1000字以内) ③推薦状2通 (書式自由/厳封) 社会貢献の活動内容を実際に知っており、説明できる適切な人物であれば、職業等は問わない。ただし、本人の四親等以内の親族、現在通っている、および過去に通っていた学校の教職員は除く。推薦状は、様式・用紙は自由であるが、推薦者の連絡先 (住所・電話番号) が明記され、署名・捺印があること。日本語・英語以外の言語で書かれた推薦状は、日本語あるいは英語の訳文を添付すること。推薦者には内容を確認するために、直接連絡する場合がある。虚偽記載が分かった場合、入学後でも入学を取り消すことがある。 ④社会貢献活動の内容や推薦者と本人の活動との関係を示す説明書 (本学所定用紙) ・活動内容の欄には、社会貢献活動の時期と頻度、活動で何を行ったのかが分かるように、詳細な記述を行うこと。推薦者と活動との関係の欄には、推薦者と当該活動がどのような関係にあるかを記すこと。 ⑤海外高等学校卒業 (見込)者調査票 (本学所定用紙/海外の高校出身者のみ)</p>	<p>面接</p>

学部	学科	募集人員	出願資格	出願書類	第二次選考試験科目
	国際A	約5	<p>●グローバル社会や人間に対する好奇心、探究心、あるいは、他者への貢献心を高校までの活動で示している者を求めます。</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者 (P. 158 上部参照) 2. 以下の項目において、いずれか一つ以上を満たす者 (1) 高校時代 (または高等学校に相当する期間) に探究活動、社会活動、ボランティア活動、スポーツ、文化・芸術・科学の各分野における活動などに積極的に取り組み、その活動に関係する具体的な問題関心を国際学科の教育を通じて深めつつ広げ、卒業後はその問題関心を社会で生かしたいという希望を持っている者。 (2) 大学入学までに、国内の外国人学校 (日本の高等学校または中等教育学校 (後期課程) と同等の課程の最終学年を含める) に3年以上在学し卒業した者、もしくはその見込みのある者で、多言語や多文化経験に基づく具体的な問題関心を国際学科の教育を通じて深めつつ広げ、卒業後はその問題関心を社会で生かしたいという希望を持っている者。 (3) 出願時点で、海外において現地の教育課程に基づく正規教育機関に3カ月以上継続して留学した経験のある者で、海外での経験に基づく具体的な問題関心を国際学科の教育を通じて深めつつ広げ、卒業後はその問題関心を社会で生かしたいという希望を持っている者。</p>	<p>①調査書^{*3} ②出願資格2.を証明しうる書類 ・(1) で出願する場合、証明書類の提出は不要。 (2)、(3) で出願する場合、在学期間が明記された卒業 (見込) 証明書・成績証明書等 (コピー不可)、そのことを証明しうる書類を提出 ③志望理由書 (本学所定用紙) (1) 高校時代 (または高等学校に相当する期間) に継続的に取り組んできた活動、(2) 国内の外国人学校における経験、もしくは(3) 海外での留学経験に関連づけ、大学卒業後の進路の希望にも言及しながら、国際学科を志望する理由を800字程度で記してください。A4用紙1ページ以内で追加資料の提出を認めます (形式・内容自由)。 ④レポート (本学所定用紙) 今日の社会においてあなたが最も重要だと考える問題に関して、なぜそれが重要なのか、どのようにそれに対処すべきかを800字程度で記述してください。その際、これまでに読んだ本や学んだことに積極的に言及してください。 ⑤海外高等学校卒業 (見込)者調査票 (本学所定用紙/海外の高校出身者のみ)</p>	<p>①小論文 (60分) ②英語 (60分) ③面接</p>
国際	国際B	約30	<p>●グローバル社会における活躍を目指して、一定レベル以上の語学力の育成に取り組んだ者を求めます。</p> <p>下記の項目をすべて満たす者 1. 共通出願資格を満たす者 (P. 158 上部参照) 2. 以下の項目において、いずれか一つ以上に該当する者^{*1} a. 実用英語技能検定 (英検) 2級以上合格または合否を問わずCSEスコア1980点以上 (2級以上の試験に限る) b. TOEFL iBT[®] (Test Dateスコア) 42点以上 (44点以上またはバンドスコア3以上) c. GTEC (4技能合計スコア) 930点以上 d. TEAP (4技能合計スコア) 225点以上 e. IELTS (Academic Module オーバーオール・バンド・スコア) 4.0以上</p>	<p>①調査書^{*3} ②出願資格2.を証明しうる書類 (詳細は入学試験要項を参照) ③志望理由書 (本学所定用紙) 高校時代 (または高等学校に相当する期間) の学びや経験に関連づけ、大学卒業後の進路の希望にも言及しながら、国際学科を志望する理由を800字程度で記してください。 ④レポート (本学所定用紙) 今日の社会においてあなたが最も重要だと考える問題に関して、なぜそれが重要なのか、どのようにそれに対処すべきかを800字程度で記述してください。その際、これまでに読んだ本や学んだことに積極的に言及してください。 ⑤海外高等学校卒業 (見込)者調査票 (本学所定用紙/海外の高校出身者のみ)</p>	<p>①小論文 (60分) ②面接</p> <p>■英語試験の得点換算について^{*1} 出願資格2.のa~eは、保持するスコアに応じて以下の通りに英語の得点に換算し、第二次選考の合否審査で使用します。</p> <p>【80点換算】 a.CSEスコア1980~2140点 b.42~56点 (44~57点、またはバンドスコア3) c.930~1054点 d.225~265点 e.4.0</p> <p>【90点換算】 a.CSEスコア2141~2303点 b.57~71点 (58~71点、またはバンドスコア3.5) c.1055~1179点 d.266~308点 e.4.5~5.0</p> <p>【100点換算】 a.CSEスコア2304点以上 b.72点以上 (72点以上、またはバンドスコア4以上) c.1180点以上 d.309点以上 e.5.5以上</p>

*1 英語外部検定試験は、出願締切日より2年以内に受験した試験結果のみ有効であり、TOEIC[®]を除いて異なる試験日、試験回のスコアの合算は認めません。なお、TOEIC[®]はL&RのスコアにS&Wのスコアを2.5倍して合算したスコアとします。また、実用英語技能検定 (英検) はS-CBT・S-Interviewも可とし、CSEスコアに関しては、スコアが基準を満たしていれば合否は問いません。ただし、2級以上の試験に限ります。GTECは検定版のほかにCBTタイプも可とします。TOEFL iBT[®]はHome Editionは不可とします。また、2026年1月21日以降に受験した場合は () 内のスコアとします。IELTSはOne Skill Retakeの利用は不可です。

*2 評定平均値の記載された調査書を提出できない場合は、出願資格の評定平均値相当の学力を有しているかの確認を第一次選考に先駆けて行います。詳細は入学試験要項をご覧ください。

*3 調査書が発行されない場合は卒業証明書および成績証明書を提出してください。詳細は入学試験要項をご覧ください。

学部	学科	募集人員	出願資格	出願書類	第二次選考試験科目
国際	国際キャリアB	4月入学 約10 9月入学 若干 (国際キャリア学科のみ 9月入学あり)	<p>●1. 国際キャリア学科の教育目標（グローバル社会の諸問題に対する政治・経済・文化の各分野からの総合的な理解能力を涵養すると共に、多言語でのコミュニケーション能力を身につけ、多様な環境の下に生きる人々と協力し、リーダーシップを発揮できる能力を持つ人材を養成する）を充分理解している者</p> <p>2. 国際キャリア学科の提供するカリキュラムを充分消化しうる意欲と基礎学力を有する者</p> <p>3. 将来国際的な現場で即戦力として活躍したいという強い意欲を持つ者</p> <p>下記の1.2.3.のすべてを満たす者、または2.4.をすべて満たす者</p> <p>1. 共通出願資格(1)を満たす者(P.158上部参照)</p> <p>2. 共通出願資格(2)を満たす者(P.158上部参照)</p> <p>3. 外国語の能力について次の項目のうちいずれか一つ以上を満たす者^{*1}</p> <p>a. 実用英語技能検定(英検)2級以上合格または合否を問わずCSEスコア1980点以上(2級以上の試験に限る)</p> <p>b. TOEFL iBT®(Test Dateスコア)55点以上(55点以上またはバンドスコア3以上)</p> <p>c. TOEIC®(L&R+S&W)1150点以上</p> <p>d. GTEC(4技能合計スコア)1050点以上</p> <p>e. TEAP(4技能合計スコア)265点以上</p> <p>f. IELTS(Academic Moduleオーバーオール・バンドスコア)4.5以上</p> <p>g. 入学時点で、英語で教育を行っている中学校および高等学校・中等教育学校に過去連続して2年以上在籍していた者</p> <p>4. 日本国内にある国際バカロレアの認定校を修了または修了見込みの者で、かつ入学時までEnglish A:LiteratureまたはEnglish A:Language and Literatureを履修し、IB Full Diplomaを取得している者、または取得予定の者(ただし、2027年4月1日までに18歳に達していること)</p> <p>・海外居住者も対象となる国際キャリア学科AO(A)の入試制度については、本学「入試情報サイト」→「入試制度・日程」を参照してください。</p> <p>・国際キャリア学科AO(A)(第一期)とAO(B)は併願不可です。</p>	<p>①【出願資格1.2.3.をすべて満たす者】 ・調査書^{*3}</p> <p>【出願資格2.4.をすべて満たす者】 ・IB Full Diplomaまたは、IBの最終試験の成績見込評価証明書(IB Predicted Grade)</p> <p>②【出願資格1.2.3.を満たす者のみ】 出願資格3.を証明しうる書類 ・a.~f.(詳細は入学試験要項を参照) ・g.は上記①と重複する場合は提出不要</p> <p>③下記の成績証明書(Educational Certification)の提出が可能の場合は(1)~(6)いずれか一つ (原本またはcertified true copy(原本からの正しい複製であることを出身学校や大使館および日本国内の公証役場等の公的機関によって証明されたコピー)) (1) SAT Reasoning Test (SAT I) またはSAT Subject Tests(SAT II) 直送コード:0129 (2) ACT (3) Advanced level GCE or GCSE (4) Baccalauréat (5) Abitur (6) その他の(1)~(5)に相当する証明書</p> <p>④志望動機書(英語/様式自由/600語~800語) ・余白に志願者氏名を明記 ・志望動機書に記述する内容は、以下の(1)~(4)に示されている項目に沿ったものであること。なお、(1)および(4)は必須項目とし、(2)、(3)については、自身が該当する場合に記述すること。 (1) 高校時代(また高等学校に相当する期間)において、英語以外の科目で最も熱心に学習した科目は何か。また、その科目からどのようなことを学んだかを説明すること。 (2) 高等学校在学期間中に社会活動、ボランティア活動、探究型学習活動などに参加したことがある場合は、それらの活動から何を学び、それが国際キャリア学科への入学志望動機とどのように関連しているかを説明すること。 (3) 高等学校在学期間中に留学や異文化交流の経験がある場合は、それらの経験から何を学び、それが国際キャリア学科への入学志望動機とどのように関連しているかを説明すること。 (4) 上記の項目(1)~(3)を踏まえ、国際キャリア学科で何を学びたいか。また、その学びが自分の進路とどのように関連するかを説明すること。</p> <p>⑤エントリーシート(本学所定用紙)</p>	<p>①英語(60分)</p> <p>②論文(60分)</p> <p>③面接</p> <p>■英語試験の免除について^{*1} 出願資格3.のa~fで、以下のスコアを保持する者は英語の得点を「100点」とし、英語試験を免除します。英語免除者は2科目、非免除者は3科目でそれぞれ合否判定を行います。</p> <p>a.CSEスコア2303点以上 b.65点以上(65点以上またはバンドスコア3.5以上) c.1400点以上 d.1120点以上 e.308点以上 f.5.5以上</p>

学部	学科	募集人員	出願資格	出願書類	第二次選考試験科目
心理	心理	約15	<p>●心理学では、以下のような人材を求めます。</p> <p>1. ころを科学的に探求する意欲をもっている。</p> <p>2. より良い人間関係と、より良い社会を創ることに興味・関心をもっている。</p> <p>下記の項目をすべて満たす者</p> <p>1. 共通出願資格を満たす者(P.158上部参照)</p> <p>2. 全体の評定平均値が3.8以上の者^{*2}</p> <p>3. コミュニケーション能力に優れた者</p>	<p>①調査書^{*3}</p> <p>②志望理由書(本学所定用紙/800字程度) 本学科のアドミッションポリシーに照らして、あなたが本学科を志望する理由と自己アピールをまとめてください。</p> <p>③本学科のアドミッションポリシーに照らして、本学科を志望する意欲や動機、目的意識を客観的に証明できる書類*を提出することが望ましい(コピー可)。 *例として資格・検定の証明書類、(心理学や医療・教育・産業・福祉・司法などの関連領域における)課題研究の発表資料、ボランティアや課外活動の証明書類、各種大会やコンクールでの表彰状など。</p> <p>④海外高等学校卒業(見込)者調査票(本学所定用紙/海外の高校出身者のみ)</p>	<p>①小論文(60分)</p> <p>②面接</p>

^{*1} 英語外部検定試験は、出願締切日より2年以内に受験した試験結果のみ有効であり、TOEIC®を除いて異なる試験日、試験回のスコアの合算は認めません。
なお、TOEIC®はL&RのスコアにS&Wのスコアを2.5倍して合算したスコアとします。また、実用英語技能検定(英検)はS-CBT・S-Interviewも可とし、CSEスコアに関しては、スコアが基準を満たしていれば合否は問いません。ただし、2級以上の試験に限ります。GTECは検定版のほかCBTタイプも可とします。TOEFL iBT®はHome Editionは不可とします。また、2026年1月21日以降に受験した場合は()内のスコアとします。IELTSはOne Skill Retakeの利用は不可です。
^{*2} 評定平均値の記載された調査書を提出できない場合は、出願資格の評定平均値相当の学力を有しているかの確認を第一次選考に先駆けて行います。詳細は入学試験要項をご覧ください。
^{*3} 調査書が発行されない場合は卒業証明書および成績証明書を提出してください。詳細は入学試験要項をご覧ください。

学部	学科	募集人員	出願資格	出願書類	第二次選考試験科目
心理	教育発達	約18	<p>●「ころを探り、人をささえる」という心理学部の教育理念に即し、教育発達学科では、次に掲げる多様な資質を持ち、教育発達学科で学ぶことを強く希望する人を歓迎します。</p> <p>1. 子どもの心の理解と支援に強い関心を持っていること</p> <p>2. 小学校教員、幼稚園教員、特別支援学校教員となることを強く希望していること</p> <p>3. ボランティア経験や国際交流経験などを有し、多様な人々とのコミュニケーションに興味・関心を持っていること</p> <p>下記の項目をすべて満たす者</p> <p>1. 共通出願資格を満たす者(P.158上部参照)</p> <p>2. 以下の項目において、いずれか一つを満たす者^{*1}</p> <p>(1) 実用英語技能検定(英検)2級以上合格または合否を問わずCSEスコア1980点以上(2級以上の試験に限る)</p> <p>(2) TEAP(4技能合計スコア)225点以上</p> <p>(3) GTEC(4技能合計スコア)930点以上</p> <p>(4) 英語の評定平均値が4.0以上^{*2}</p> <p>(5) 国語の評定平均値が4.0以上^{*2}</p> <p>(6) 数学・理科・地理歴史・公民の4教科のうち、2教科の評定平均値がともに4.0以上^{*2}</p> <p>(7) 全体の評定平均値が3.5以上^{*2}</p> <p>3. 地域社会、または海外において、自発的であり、かつ単発でない社会貢献活動(ボランティア活動や地域活動)の実績をもつ者、または国際交流経験をもつ者。</p>	<p>①調査書^{*3}</p> <p>②出願資格2.を証明しうる書類(詳細は入学試験要項を参照)</p> <p>③出願資格3.を証明しうる書類 ・社会貢献活動に関してボランティア証明を提出できる場合は提出のこと(コピー可)。また、国際交流経験に関して、海外の教育機関に在籍している(在籍していた)場合には、在学期間が明記された卒業(見込)証明書・成績証明書等を提出すること(コピー不可。上記①で充足する場合には提出不要)。 ・社会貢献活動・国際交流経験に関する公式発行物、賞状、新聞・雑誌、レポート、Webサイト(SNSを除く)等があれば該当箇所をコピーして(できるだけA4サイズに揃えて)添付することが可能です。氏名が書かれていないものには余白に氏名を明記してください。返却はできません。 電子データ・動画の提出は不可。 ・社会貢献活動・国際交流経験を公的に証明する書類がない場合、活動の記録を任意で作成して添付することが可能です。その際に、活動した場所、期間、活動内容、もしくは活動実績や成果等を明示すること。</p> <p>④自己アピール書 本学科のアドミッションポリシーに照らして、あなたが高校時代に取り組んだことを踏まえ、本学科を志望する理由を、A4用紙2枚またはA3用紙1枚で記載すること。形式は問わない。イラスト、図、写真を使っても構わない。ただし、パソコンは使用不可。余白に氏名と出願資格2.(1)~(7)のうち該当する項目を明記。 ⑤海外高等学校卒業(見込)者調査票(本学所定用紙/海外の高校出身者のみ)</p>	<p>①小論文(60分)</p> <p>②面接</p>

学部	学科	募集人員	出願資格	出願書類	第二次選考試験科目
情報数理	情報数理	約6	<p>●情報数学科では、AO入試の趣旨に基づき、以下の資質を持つ人材を求めます。</p> <p>1. 現代の先端情報技術を理解し、情報数理学部における学びに取り組む前提として、知識・技能、思考力・判断力・表現力などにおいて、高等学校などで修得すべき基礎的な能力を身につけている。</p> <p>2. 本学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”の意義を理解し、情報技術を通じてこの理念を社会へ還元するための学修意欲を備えている。</p> <p>3. 情報技術を社会における幅広い問題の解決手段として応用し、活用しようとする強い意欲を持っている。</p> <p>下記の項目をすべて満たす者</p> <p>1. 共通出願資格を満たす者(P.158上部参照)</p> <p>2. 数学の評定平均値が3.6以上の者^{*2}</p> <p>3. 高等学校または中等教育学校(後期課程)在学中に、本学科の理念や特徴に適した活動(数学・理科・情報に関する探究活動、課外活動、社会活動、コンテスト・コンクールへの参加や資格取得等)に積極的に取り組み、その能力・経験・実績について自己アピールができる者</p>	<p>①調査書^{*3}</p> <p>②出願資格3.を証明しうる書類(コピー可)、または、活動内容を説明し、その実績を客観的に証明できる書類</p> <p>③自己推薦文・志望理由書(本学所定用紙/1000字程度)</p> <p>④海外高等学校卒業(見込)者調査票(本学所定用紙/海外の高校出身者のみ)</p>	<p>①数学文章問題(60分) *数学文章問題は、数学I、数学A(図形の性質・場合の数と確率)、数学II、数学B(数列)、数学C(ベクトル)の範囲から出題。</p> <p>②面接</p>

I 2026年度 自己推薦AO入学試験結果

学部	学科	募集人員	倍率	志願者数	第一次選考通過者数	合格者数
文	英文	約20	1.2	61	61	52
	フランス文A	約10	1.6	44	40	28
	フランス文B	約5	1.0	2	2	2
経済	国際経営	約30	4.2	79	29	19
社会	社会	約10	3.6	64	29	18
	社会福祉	約20	2.5	110	72	44
法	消費情報環境法	約34	1.8	116	90	63
	グローバル法	約15	2.3	14	14	6
	政治	約10	2.2	33	21	15
国際	国際A	約5	5.0	15	11	3
	国際B	約25	2.8	156	126	56
	国際キャリアB(4月入学)	約10	1.5	33	27	22
	国際キャリアB(9月入学)	若干名	—	0	—	—
心理	心理	約15	6.7	120	35	18
	教育発達	約25	3.2	74	39	23
情報数理	情報数理	約6	2.5	20	20	8
計		—	—	1,026	658	391

*倍率は、志願者数÷合格者数(小数点第2位四捨五入)で算出しています。 *国際キャリア学科A(海外居住者も対象)については、本学「入試情報サイト」でご確認ください。